

問題を抱えながら伝統ある関西吟詩を如何に継承していくのか、課題は山積ですが全力を絞って勇氣と行動をもって課題に挑戦して参りますので、会員皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

先日、ふと眼にした宮城県の上奥にある老舗旅館の当主のインタビュー記事に勇氣付けられました。それは、古くから温泉宿として親しまれてきたこの旅館が、長い歴史を刻んできた中で、一時期は湯治客の減少で経営難に陥り、存続の危機に直面したこともあったが、これを立て直し、新しい命を吹き込んだのは、当主としての家業に掛ける熱い想いであり、お客様の声に懸命に耳を傾け一つ一つ改善を繰り返してきた。お客様に喜んでいただくため、お客様の要望をかなえるため、一所懸命に知恵を絞り、あきらめることなく、やりきった事、と同時に、何事も自分一人では出来ないの、スタッフと想いを共有すること、スタッフを大切に、モチベーションを高め、それぞれが担当する役目に工夫して貢献するように持っていかけた。いわば「自律自助の精神」をそれぞれが自ら体得し実践していったという事であり、その積み重ねがあつてコロナ禍で一時的

業自粛で落ち込んで、その後回復し例年並みの業績を確保しているという話です。当主は「想像Ⅱ創造」で、「思いは必ず形にできる」人間というものは、ダメと思えばダメな方向に進むし、いけると思えばいけるような行動をするもので、自分が頭の中でイメージしたことは、必ず形にできるといわれる。そして大事なことは「世の中のムードに流されず」お客様の信用を大事にしながら、社員と想いを共有して一つ一つ形にしていこうとだと言う。

私達には公益社団法人として「詩歌吟詠を通じて我が国の文化発展に寄与し継承する」という熱い使命があります。2年後には創立90周年という大きな節目を迎えます。今その活動が様々な制約を受けていますが、ここにきてようやく希望の光が見え出しました。遅れていた「ワクチン」接種も急ピッチで進みつつあります。ここは「世の中のムードに流されず」皆が工夫を凝らし、明るい未来を信じてみんなと力をあわせてコミュニケーションを図って参りましょう。

会員の皆さまの一層のご健勝をお祈りいたします。

以上